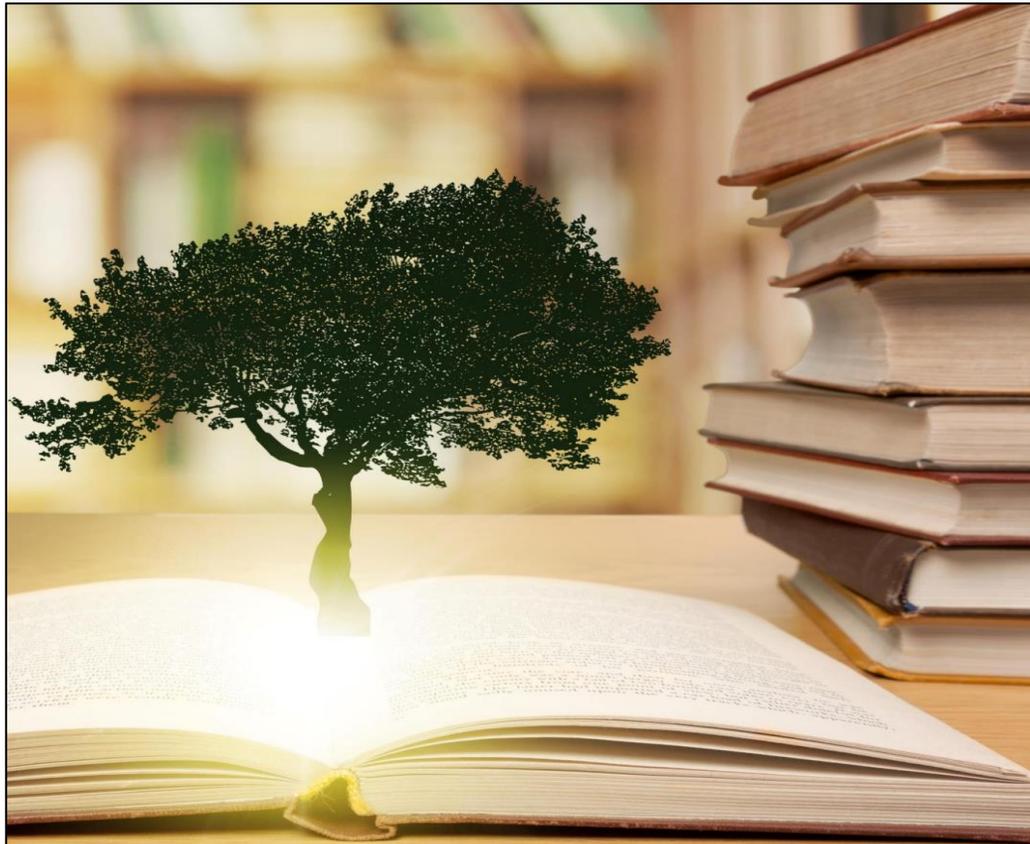


第4回月測位研究会：月の座標系の利用に関するパネルセッション
於 JAXA 東京事務所<ハイブリット>

国際ルール形成と月測位 (Lunar PNT) について

2023年5月10日

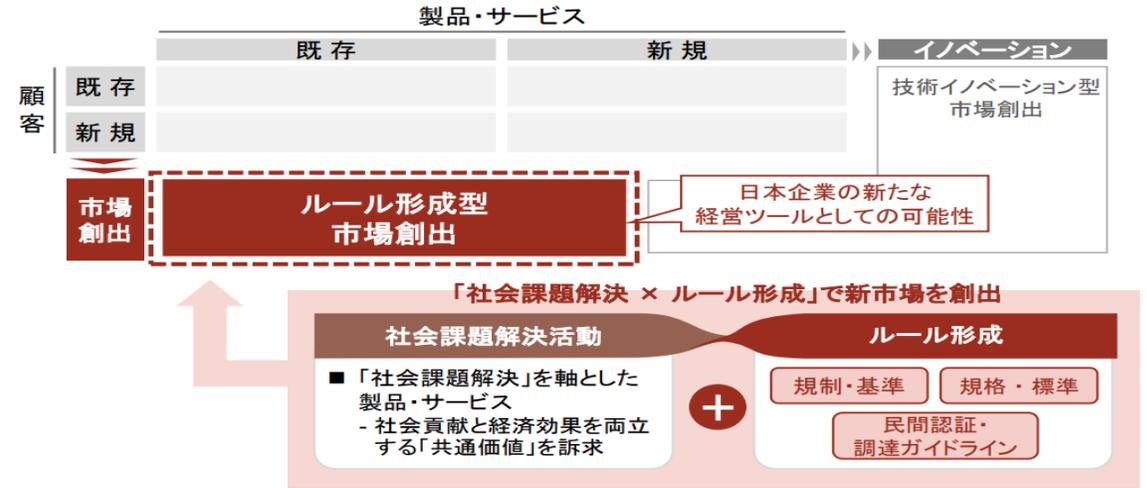
一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構
衛星測位事業本部 利用開拓部長
博士(工学) 浅里 幸起



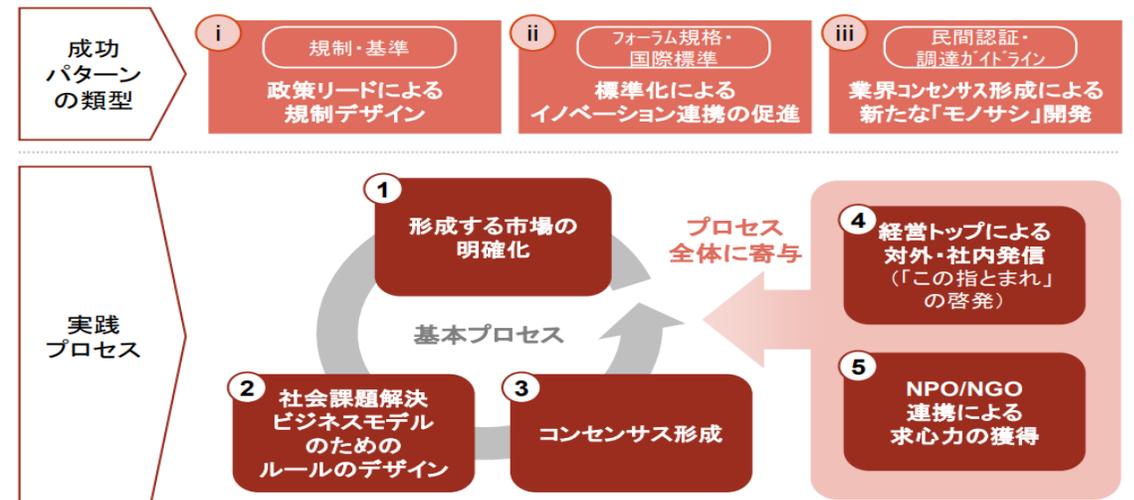
ルール形成型 市場創出の実践に向けて 「市場形成ガイドンス」

- 社会課題解決でビジネスを創る経営の手引き -

■ 従来型の競争戦略が限界を迎える中、社会課題解決×ルール形成で新たな市場を創出するアプローチに勝機あり

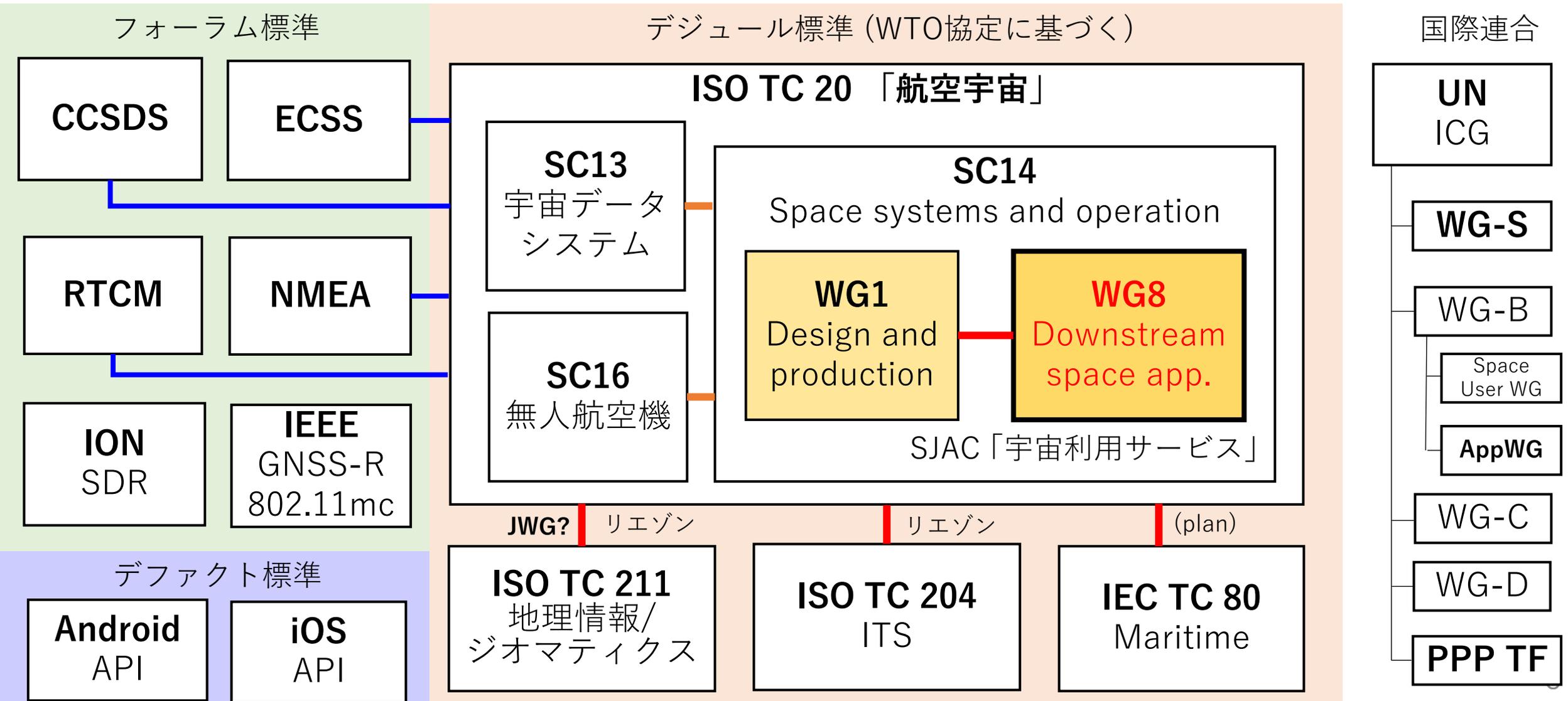


■ 自社が狙う成功パターンを規定した上で、対象市場の明確化～コンセンサス形成まで、着実にプロセスを踏むことが肝要



国際枠組みの再編が進む

フランス政府機関やアメリカ業界の主導でルール形成の再編が急速に進展している。



- **ISO/TC 20/SC 14 年次総会 & 春期国際会議**

日時： 2023年5月29日～6月29日

場所： ブラジル サン・ジョセ・ドス・カンポス市（サンパウロの近く）

- **SC 14 宇宙システム及び運用**

第1作業部会（WG1）

－ 部会長（コンビーナ）は日本： 三菱電機 吉岡委員長

日本の使ってきた月の基準座標系をISO標準にすることを提案

－ NASA JPL（ジェット推進研究所）が開発・規定

－ 議長国は米国： NASA マーシャル宇宙飛行センター → 空軍OB

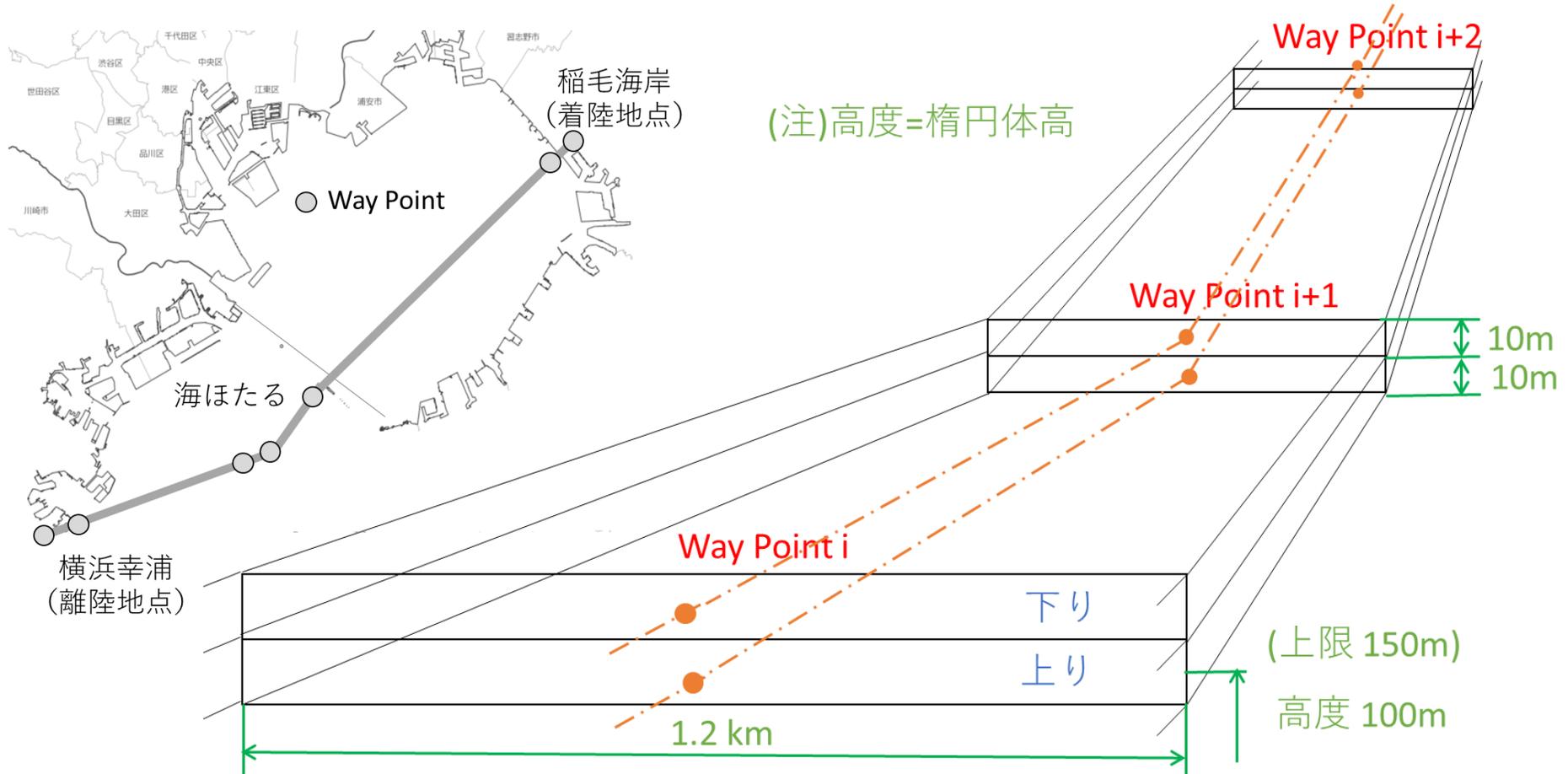
- **他の標準化委員会との調整**

ISO 同委員会 WG8 「宇宙利用サービス」

TC 211 地理情報、宇宙と Joint WG を提案、未成立

三次元空間の所有と管理のルール形成

東京湾を縦断する飛行実証(2022年3月24日)において、無人航空機の空路を空間座標データとして規定した。具体的な仕様の事例である。



三次元空間（陸部、水部、空部）の登記管理方法は、オランダ等の研究により規格化が進行中。日本国内では、法律家、登記・地籍関係者、建築家等にて議論を進めている。

- 日本政府は、国際ルール形成による市場創出を推進しています。
- 月測位分野でもこの政策を活用して市場創出を進めましょう。
- 5月下旬に始まるISO宇宙システム会議にて、日本の使ってきた「月の基準座標系」を提案。
- 月測位に関する国際ルール形成にも一緒に取り組みましょう。

ご質問等は、J-spacesystems 浅里 asari-koki@jspacesystems.or.jp まで。